

令和5年度第2回保健医療推進協議会

(基本情報)

会議名称	令和5年度第2回立川市保健医療推進協議会
開催日時	令和6年2月26日(月曜日) 13時30分～14時15分
開催場所	立川市健康会館1階集団検診室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 立川市あいさつ 4. 議題 (1)「健やかたちかわ21プラン 第4次(立川市第6次地域保健医療計画)」の諮問 (2)「立川市民の健康づくりに関する意識調査」報告書(案)について (3)「健やかたちかわ21プラン 第3次(立川市第5次地域保健医療計画)」の評価について 5. その他 6. 閉会
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「立川市民の健康づくりに関する意識調査」結果 2. 第5次地域保健医療計画の評価報告書 3. 令和6年度 会議日程(予定)
出席者	<p>[委員] 村上幸人(会長)、片岡委員(副会長)、足立委員、森谷委員、古谷委員、島田委員、萬田委員、長屋委員、川北委員、長嶺委員、西村委員、宮本委員</p> <p>[事務局] 浅見保健医療担当部長、鈴木健康推進課長、佐藤健康づくり担当課長、二橋母子保健係長、山下地域支援係長、仁尾予防健診係長、豊田保健事業係長、太田主査(新型コロナワクチン接種等担任)、小島業務係長、柳澤主任</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健やかたちかわ21プラン 第4次(立川市第6次地域保健医療計画)」の諮問 2. 「立川市民の健康づくりに関する意識調査」報告書(案)について 3. 健やかたちかわ21プラン 第3次(立川市第5次地域保健医療計画)」の評価について
担当	福祉保健部健康推進課 電話 042-527-3632

1 開 会
2 会長あいさつ
3 立川市あいさつ
4 議 題

(1) 健やかたちかわ21プラン 第4次(立川市第6次地域保健医療計画)の諮問

保健医療担当部長 それでは諮問をさせて頂きたいと思っております。本来でしたら立川市長、酒井市長がこの場で諮問書を読み、お渡しするところですが、別の公務が入っておりますので、私が代弁させていただきます。

諮問書。立川市保健医療推進協議会条例第1条の規定に基づき下記事項について諮問いたします。

1. 諮問事項「健やかたちかわ21プラン第4次(立川市第6次地域保健医療計画)」の策定について
2. 諮問趣旨 本市では、市民の健康づくりとその支援のための行動計画として、令和2年に「健やかたちかわ21プラン第3次(立川市第5次地域保健医療計画)」を策定し、様々な健康づくり施策を展開するとともに、市民が安心して暮らせる保健・医療のしくみづくりに取り組んでおります。この計画が令和6年度をもって終了するため、健康をめぐる現状や課題を踏まえ、新たな計画を策定することとなりました。

そこで、次期計画策定についてご意見を求めるものです。以上でございます。

(2) 「立川市民の健康づくりに関する意識調査」報告書(案)について

○健康推進課長 事務局の健康推進課長をしております鈴木と申します。よろしくお願ひいたします。私の方からは「立川市民の健康づくりに関する意識調査」の概要を説明させていただきます。現行の健やかたちかわ21プラン第3次の評価及び令和7年度を初年度とする健やかたちかわ21プラン第4次の作成の為の基礎資料としまして今回の調査をさせていただきました。

調査方法と致しましては、市内居住の18歳以上市民2,000人に郵便調査をさせていただいております。有効回答数は595件、有効回収率は29.7%となっており、郵送での回答が449件、オンラインでの回答が146件となっております。調査項目は1ページのところの(3)にある通りでございます。内容と致しましては、7ページ【2-12】「あなたはご自身の健康に関心はありますか」につきまして、「関心がある」という方が52.4%の半数以上。「あなたは健康にいいと言われている事を行っていますか」ということで60.3%の方が何らかの健康にいい事を行っているというようなご回答いただいております。

その反面、6ページ【2-9】「ロコモティブシンドローム」を知っていますかという質問については65%の方が知らないと回答。「フレイルについて知っていますか」というところも60%の以上の方が知らないと回答しています。健康について関心はあるけれど、知識については細かな所まではないというところです。口腔内の事でも【2-8】「8020の運動のところを知っている」という方が42.7%、「8020、9016運動を両方とも聞いたことがない」という方が43.2%となっております。

今回の調査としまして、一番新しい点が21ページにあります感染症に関する事についてで、今回はコロナの事を聞かせて頂いております。【12-3】新型コロナウイルス感染症により生活様式の変化が起こりま

したが、あなたに起こった変化で現在も継続しているものという問いでは「外出が減った」が47.2% 「外出時に混雑する時間帯を避けるようになった」が42% 「友人や知人等、人と会う機会が減った」と答えている方が50%以上いらっしゃいます。

また【12-4】新型コロナウイルス感染症に伴い、意識するようになった衛生面での行動についての問では、「手洗いうがい」が72.1%の人が身についていらっしゃっていて「咳エチケットを意識するようになった」という方も50%以上。「人が多いところではマスクをするようになった」という方が77.3%以上いらっしゃるというような結果が出ています。

24ページ【14-1】「今後、市ではどのような保健医療政策を充実していくべきだと思いますか」という問いについて「健康診査や各種健康診査」を充実させていくべきだと考えてられる方が59.3% 「休日夜間診療」を充実させていくべきだと考えられている方が50%以上いらっしゃるという結果が出ています。

【14-2】「健康づくりのために、市民はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか」という問いに対しては「定期的に健診を受け、自ら健康管理を行う」と回答した方が70%以上。「日常生活の中で意識的に体を動かす」と回答した方は67.4%という状況でございます。

あとの細かいところにつきましてはご覧いただいた通りです。私からの説明は以上になります。

○健康づくり担当課長 私からも補足としまして、23ページ、先ほど感染症もありましたが、「デジタル技術の活用」のところも新しい項目としまして今回あげさせていただいております。この中ではアプリなどのデジタルデバイスを使用し、自分の健康管理をされている方、されていない方、割合としては30%台でほぼ変わらないという事で、この辺りは年齢による際が大きいのかなというところでございます。

市長の公約にも関わるところなんですけども、20ページ【10-5】について、今までがん対策について健診を中心に行っていましたけども、市長の公約の中でもがん対策の項目がございまして、今までとは違ったがん対策が何が必要かというところをアンケートの中にも組み込んで見たところですが、割合として多いのは今までのがん対策をもっと充実という意見が多くなっています。新しい事に関してはあまり知識が普及していないのかもしれませんが、市民の要望をここから読み取れるようになっていきます。私からは以上です。

○健康推進課長 事務局からの説明は以上でございます。

○A委員 ただいま、事務局より説明をしていただきましたが、何かご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

○B委員 非常に膨大な調査をしっかりと分析をしていただいて恐らくクロス分析をされるので実際は細かいのがあると思うんですが非常に興味深く読ませていただきました。

特にその他の意見がありますけど、個々には健康の維持増進に関するいろんな意見が出ていますので、今後この参考意見を施策にいかしていただければと思うんですけども、

例えば36ページの上から3つ目の丸について、管轄として福祉保健部ではなくて交通対策課なるのか道路課になるかわかりませんが、そういうところも関係すると思いますのでぜひこれを庁内全てで情報共有をしていただいて、今後の施策に生かしていただけるとよりいい物が出るのではないかと思います。以上です。

○A委員 ありがとうございます。その他にございませんでしょうか。

○C委員 回収率について、今回は回収率がすごい低いなというところは悩まれているところだと思います。オンラインは今年初めてでしょうか。オンラインは若い方が答えられたのか、全般的にオンラインの方が答えやすくなったのか、紙で集計してもその後の後処理も大変でしょうし、今度の調査は年齢分布を考えてやられたと思うのですが、もう少し若い人の回収率が上がらないとどうしても意見が反映されませんしあとは数が595という数字が代表制のある数字が悩ましいところかなと思います。調査方法について、回収結果について何かあれば事務局にお聞きしたいと思います。

○健康推進課長 手元にオンラインで回答した人の年齢はわからないのですが、調査結果として回答率が概ね多い年代は50代、60代、70代と年齢が高い方が答えられている傾向が見受けられます。

○C委員 生活習慣病は50代、60代では遅く、30代くらいの方々から始めなければならない、もっと言えば幼少期からの食生活とか生活習慣が大事という認識だと思いますので、もう少し働き盛りの世帯の回答が増える何か工夫があると良いなと思います。職域とか企業の連携とか何かあると良いと思います。以上です。

○A委員 他にございますでしょうか。

○D委員 今回の調査でクロス集計をぜひしていただきたいと思います。4ページの【2-1】「あなたご自身の健康状態」の「健康である」から始まって「健康ではない」の4つ、8ページの【2-16】「あなたにかかりつけの医師がいますか」のいうところ。「いる」と、「いない」の2つ。健康な方が通院をしていないから、かかりつけ医がいないという状況がかなり多くあるのではないかと思うんですね。問題なのは健康じゃない人がかかりつけ医がいない。というのが問題なので、そこがクロス集計で見れるとありがたいなと思います。

かかりつけ医を持ちましょうという運動がですね、どこをターゲットに対象にしていくか次期計画に向けてとても大切だと思います。以上です。

○A委員 ありがとうございます。

○保健医療担当 クロス集計は全部が全部ではなくて、効果的だと思われるものという意見を参考にぜひ試みたいと思います。

それから、かかりつけ医の問いですが、市の上位計画であります長期総合計画の市民アンケートも行ってありますが、そちらは、かかりつけ医はいますかというアンケート項目になっています。今回のアンケートでは、医師なのか、歯科医なのか、薬剤師なのかを分けて示しており、初めての試みになりますので、ぜひこういった設計を有効に活用したいと思います。

(3) 健やかたちかわ21プラン 第3次(立川市第5次地域保健医療計画)」の評価について

○健康推進課長 事務局から立川市第5次地域保健医療計画の評価報告について説明させていただきます。資料2をご覧ください。資料2の1ページにあります通り、評価の目的としましては、最終評価の目的は策定時に設定された目標の達成状況や取り組み状況の評価するとともに、今後の政策に反映させることであります。評価の方法といたしましては、第5次地域保健医療計画に取り組む施策の各分野に掲げる目標

について、直近値が計画策定時のベースライン値と比較してどのようになっているか、また目標値への到達状況がどうなっているのかA・B・Cで評価しました。計画策定時のベースライン値や目標値と比較して、目標値に達しているものをA。実績値が目標値に近づいているものをB。実績値がベースラインと同じ、又は遠ざかっているものをCとしております。全59項目について30.5%がA評価、35.6%がB評価で、33.9%がC評価となっています。各項目に対する評価は2ページ以降に書かれています。概要は以上です。

○健康づくり担当課長 一点、修正をお願いします。資料の8ページのゲートキーパー養成者数でございます。こちら実績値74人となっておりますが、単年度の実績値となりまして、目標値の365人とは、当初のゲートキーパー養成を始めてからの累計で目標値を定めておりますので、単年度ではなく令和5年度の終了時点での実績値に修正をお願いします。修正後の実績値は351名となります。申し訳ございませんでした。

○A委員 ただいま、事務局より説明をしていただきましたが、何かご意見、ご質問がございましたらお願いします。

○B委員 この中のいろんなところでベースライン値、それから直近値、実績値、あるいは目標値という言葉が出ていますが、具体的に何年何月なの、あるいは何年度なのかというのが出てないので、いつ時点の値なのかを教えてくださいというのが1点です。それから目標値というのはどういう基準で設定されているのかが2点目です。できれば理解度、説得力の為にはそこに具体的に何年何月時点なのかという数字をいれていただいた方がわかりやすくなるのではないかなと思います。以上です。

○健康推進課長 ベースライン値はですね、今現行の計画があつて令和2年度のものでございます。目標値はその時に掲げた値になっておりまして、実績値は令和4年度の実績値になっております。以上です。

○A委員 よろしでしょうか。その他、ご質問ご意見はありませんか。

○健康づくり担当課長 補足させてください。ベースライン値は令和2年度からの計画を定めるにあたって、その時点での最新の数値を集計したのが平成30年度となっておりますので、ベースライン値については平成30年度の数字となっております。

○A委員 ありがとうございます。他にご意見ご質問はありませんか。

○E委員 8ページ4歯と口の健康では目標値、実績値ともにAとかなりいい数字が出ていますが、我々がやった成人歯科検診の結果でありまして、成人歯科健診に来る方は、健康意識が高い方なので、どちらかというとも良い数字が出ていると思います。意見として。以上です。

○C委員 評価としてAとかBとかすごい多い印象があるんですが、他の自治体ではコロナの影響で健診の受診率が相当減っていたりするのですが、あまり影響は立川はなかったという事でよろしいでしょうか。

○健康づくり担当課長 健診や教室に関してはコロナの影響は出ております。例えば、2ページのがん健診、乳がん、子宮がんに関しては上回っていますが、胃がん、大腸がん、肺がんの健診につきましてはCという事で全てベースラインより下がっています。

6以降は成人健診の実施内容となりますがベースラインよりは上がっています。

健診等につきましてはベースラインより下がっているものもありますし、一旦下がった後、直近ではまたベースラインよりはまた少し戻ってきているものもあるということになります。以上です。

○C委員 他の自治体のところでは下がり過ぎているので、バランスがかかり過ぎているので、出すのを止めたということもあったのでお尋ねしました。

○保健医療担当部長 資料2の資料は、現計画の令和2年度からの5年間計画で各指標が掲載されておりますが、出発点は平成30年度ですので5年も前になります。果たして、平成30年の出発時点での基準でABCと振り分けたのが正しい評価なのかというところがあると思います。先ほども歯と口の健康での意見でA評価は実態ではないというお話がありましたので、単純に次期計画で指標を考える際には、ABCそのままを受け入れるのではなくて、そこは踏まえて、これは進んでいる、これは進んでいないと評価をいただければと思います。

○D委員 7ページ1生活習慣病の発症予防と重症化予防のところの2の糖尿病・メタボリックシンドローム・循環器疾患の③特定健康診査の受診率についてベースライン値33.5%、実績値35.8%、目標値は60%どう見ても私はCだと思うのですが、なぜBにしたのかという疑問があります。未定稿ということで再検討いただければと思います。以上です。

○健康推進課長 再度検討させていただきます。

5. その他

○E委員 第6次に向けての話になるんですが、日野市の「日野人げんき！プラン（第4期）」について目標に3つの柱がございまして「健康づくり推進」、「がん対策」、「歯と口の健康づくり」の大目標が3つとされています。

日野と立川の施策について文言は違いますが、目指すところは、市民の健康、健康事業の前進です。日野の場合は3つの柱のうちに「歯と口の健康づくり」というのが入っていて、立川の場合は「歯と口の健康」というのは分野の中に入っています。日野のように大きな目標の中に入れなくてもいいんですが、施策の柱位にさせていただきたいと思っています。

現在「生活習慣の改善」の中に、「歯と口の健康」となっていますが、当然生活習慣が良くないと虫歯になりやすい等があり、一概にはそれだけとは言えません。良く磨いていても虫歯や歯周病になってしまう方や、溝が深い方は磨いてもブラシが溝に入らない、口腔乾燥症や唾液の成分が悪い自浄性が悪くきれいにならない。元々のエナメル質の形成不全による個人の努力だけではどうにもならない事例もあるため、生活習慣の下に入るのは歯科医師会としましては気になるところです。

次の第6次において、基本目標までは入れなくてもいいので別枠にさせていただいて柱の1つとして入れて頂いて「歯と口の健康」を入れてもらいたい。1つの案、意見として。

立川市の保健衛生って資料集について、目次を見ても歯の分野というのは中のページを見てもあまり出ていなくて、わかりにくい。例えば東京都の歯科保健の場合だと幼児期、学齢期、成人期、高齢時とその一連で経年的に一目でわかるようになっていて立川市の保健衛生の資料集も同じように作っていただけると比較しやすいと思っています。以上です。

○健康推進課長 立川市の保健衛生は、健康推進課で毎年出させていただいている資料集になります。資料集につきましては今のE委員のご意見を踏まえて、歯科の方がわかりやすいようにさせていただきたい

と思います。

施策の大系についてはこの会の方で議論していただいて、国の方でも歯の健康、口腔内の健康が体全体の健康に影響を及ぼすことは言われておりますので、ぜひともご議論いただきまして、柱のひとつにしていただけたらと思います。事務局からは以上です。

○保健医療担当部長 冒頭の挨拶でも申し上げましたが、立川市の方で長期総合計画、10年計画の策定計画が始まりまして、合わせて個別計画も一斉にスタートします。すでにここで素案として固まったものとして高齢者福祉介護事業計画があります。3年おきの計画になるんですが、今回は柱建てを0ベースから検討し直して大きく変えたという事もあります。現在の施策の柱を見ますと全部で7点になります。私の考えとしては0ベースとしてしっかり今後の5年に向けてどういった柱だてがふさわしいのか、ぜひこの協議会の中で議論していただきたいと思っています。一つのキーワードとしましてたとえば医療介護の連携、これはフレイル予防につながりますのでそこは重要ですし、コロナを経験と踏まえまして今後の新興感染症をどうしていくのか、また医療DXを市民の利便性向上のためにどうするか。様々なキーワードがあるかと思いますが、ぜひ東京都の計画を含めて、市として今後の展望、施策の体系が良いのか、しっかりとこれらの計画とは別に議論したいと思っています。本格的な議論は来年度からになると思いますがよろしくをお願いします。

○A委員 ありがとうございます。それでは最後に、事務局より次回の開催予定について、説明をお願いします。

○健康推進課長 次回の開催予定は資料3にございますように5月20日月曜日、来年度となっておりますのでよろしくお願いします。

○A委員 それでは、以上をもちまして、本日の協議会を終了いたします。委員の皆様、どうもありがとうございました。

○A委員 それでは、以上をもちまして、本日の協議会を終了いたします。

皆様、どうもありがとうございました。